

北海道新幹線の建設促進について

北海道部会提出

北海道新幹線は、我が国の高速交通体系の骨格を形成する上で極めて重要な国家的プロジェクトであり、国全体の経済の発展及び生活領域の拡大並びに北海道の振興に欠かすことのできない社会資本である。

平成 28 年 3 月 26 日の「新青森・新函館北斗間」の開業以来、東北や北関東、首都圏との文化・経済交流の促進や新産業の創出等、北海道の様々な産業分野への波及効果をもたらしており、北海道の活性化に極めて大きな役割を果たすものとして今後ますます期待される。

すでに全線開業している他の整備新幹線は、関係する地域の経済発展に大きく貢献していることから、北海道新幹線についても、札幌までの全線開業により、その効果が最大限に発揮され、北日本ひいては日本全体の発展にも大きく寄与するものと確信している。

沿線の関係自治体は、現在、2030 年度末の開業に向けてまちづくりを進めているところであり、「新函館北斗・札幌間」についても、北海道新幹線の開業効果が最大限に発揮されるよう、一日も早い全線開業が待ち望まれている。

については、北海道新幹線の建設促進に向けて、次の事項を強く要望する。

記

1. 新函館北斗・札幌間の早期完成を図ること。
2. 貸付料など幅広い観点からの更なる建設財源の確保や、財源措置の拡充による地方負担の軽減を図ること。
3. 青函共用走行区間において、さらなる新幹線高速走行の早期実現を図ること。
4. 新幹線の開業効果を高めるため、新駅周辺地域や広域幹線道路などの整備に対する社会資本整備総合交付金等の重点的な配分を行うこと。
5. まちづくりや防災等に配慮した構造物（軌道・駅舎等）の設計及び建設を行うこと。
6. トンネル等走行時における移動通信環境の基盤整備を図ること。